

総務教育常任委員会資料

(平成25年8月21日)

【 件 名 】

- 1 公立学校施設の耐震改修状況調査の結果について（教育環境課）…………… 1
- 2 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について（特別支援教育課）…………… 2
- 3 第37回全国高等学校総合文化祭長崎大会の結果について（高等学校課）…………… 3
- 4 文化財の県指定について（文化財課）…………… 5
- 5 平成25年度美術品の購入について（博物館）…………… 8
- 6 平成25年度全国高等学校総合体育大会について（スポーツ健康教育課）…………… 別紙
- 7 平成28年度全国高等学校総合体育大会の開催について（スポーツ健康教育課）…10
- 8 児童生徒のスポーツ活動ガイドライン検討委員会の設置及び開催等について
（スポーツ健康教育課）…………… 11
- 9 ワールドマスタースゲームズ トリノ大会視察結果について
（スポーツ健康教育課・企画課）…………… 14

教 育 委 員 会

公立学校施設の耐震改修状況調査の結果について

平成25年8月21日
教育環境課

公立学校施設における耐震化の取組を推進するため、文部科学省において、毎年実施されている「公立学校施設の耐震改修状況調査」の結果が公表されたので、その概要について報告します。

1 調査の概要

- (1)調査対象 全国の公立学校施設（福島県の一部学校を除く）
(2)調査時点 平成25年4月1日現在

2 調査結果の概要

(1)耐震化率の推移

区分		H22.4.1	H23.4.1	H24.4.1(A)	H25.4.1(B)	H24とH25の比較(B-A)
小中学校	鳥取県	65.7%	72.1%	76.3%	81.9%	5.6
	全国平均	73.3%	80.3%	84.8%	88.9%	4.1
高等学校	鳥取県	53.6%	68.8%	78.1%	87.1%	9.0
	全国平均	72.9%	77.7%	82.4%	86.2%	3.8
特別支援学校	鳥取県	97.8%	100.0%	100.0%	100.0%	-
	全国平均	87.9%	91.0%	92.9%	94.6%	1.7
幼稚園	鳥取県	66.7%	50.0%	100.0%	100.0%	-
	全国平均	66.2%	70.9%	75.1%	79.4%	4.3

(2)市町村別の耐震化状況(小中学校)

区分	H25.4.1 全棟数	H25.4.1 耐震化棟数	H25.4.1 未耐震化棟数	H24.4.1 耐震化率(C)	H25.4.1 耐震化率(D)	H24とH25の比較(D-C)
鳥取市	229	190	39	73.8%	83.0%	9.2
米子市	166	113	53	61.3%	68.1%	6.8
倉吉市	62	42	20	59.0%	67.7%	8.7
境港市	43	41	2	95.3%	95.3%	0.0
若桜町	7	6	1	66.7%	85.7%	19.0
智頭町	9	3	6	33.3%	33.3%	0.0
湯梨浜町	25	18	7	72.0%	72.0%	0.0
伯耆町	20	16	4	63.2%	80.0%	16.8
江府町	5	2	3	40.0%	40.0%	0.0

※岩美町、八頭町、三朝町、琴浦町、北栄町、日吉津村、大山町、南部町、日南町、日野町及び米子市日吉津村中学校組合の9町1村1組合は、耐震化率100%

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成25年8月21日

特別支援教育課

県立高等特別支援学校教室棟新築他工事（建築第六工区）に係る工事請負契約の一部変更について

工事名	県立高等特別支援学校教室棟新築他工事（建築第六工区）
工事場所	東伯郡琴浦町赤碕
契約の相手方	寿ホームズ株式会社
契約金額	契約金額 126,945,000円を 130,526,550円（3,581,550円増額） に改める。
工期	平成24年10月9日から 平成25年7月31日まで（変更なし）
契約年月日	平成25年7月16日（第1回変更）
摘要	（変更理由） プラットホームの壁、建具の追加及び基礎工事における埋め戻し土の購入等を行ったため。

第37回全国高等学校総合文化祭長崎大会の結果について

平成25年8月21日
高等学校課

- 1 開催期間 平成25年7月31日(水)から8月4日(日)
- 2 開催地 長崎県内各地(長崎市ほか)
- 3 参加生徒数 26部門中、23部門延べ344名
開催部門：開催行事…総合開会式、パレード
規定部門…演劇、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、日本音楽、
吟詠剣詩舞、郷土芸能、
マーチングバンド・バトントワリング、美術・工芸、書道、
写真、放送、囲碁、将棋、弁論、小倉百人一首かるた、
新聞、文芸、自然科学
協賛部門…高校生文化祭サミット、特別支援学校、図書、
JRC・ボランティア、郷土研究
※ 演劇は生徒講評委員の参加のみ
※ 自然科学、JRC・ボランティアは不参加
※ 特別支援学校は長崎県内の学校による開催

4 成績

書道部門

賞	受賞者
特別賞	鳥取城北高校3年・福本 若奈

《備考》出展数 約300点

文部科学大臣賞奨励賞 1名、文化庁長官賞奨励賞 2名
朝日新聞社賞奨励賞 3名、奨励賞 5名、
菅公賞特別賞 5名、特別賞 40名

写真部門

賞	受賞者
奨励賞	鳥取聾学校2年・阪本 こゆき 鳥取工業高校3年・森岡 純啓

《備考》出展数 約300点

最優秀賞(文部科学大臣賞1名、文化庁長官賞2名)計3名、
優秀賞(朝日新聞社賞)1名、優秀賞(読売新聞社賞)1名、
優秀賞5名、奨励賞20名

囲碁部門

賞	受賞者
男子個人4位	倉吉東高校3年・佐渡 海斗

《備考》出場者数 48名

文部科学大臣賞（優勝）1名、文化庁長官賞（準優勝）1名、
第3位 1名、第4位 1名、第5位 1名

弁論部門

賞	受賞者
最優秀賞	鳥取敬愛高校3年・荻原 詩人

《備考》出場者数 65名

最優秀賞（文部科学大臣賞・文部科学大臣旗）1名、
優秀賞（文化庁長官賞）1名、優秀賞 13名

新聞部門

賞	受賞団体
優良賞校	鳥取城北高校
奨励賞校	鳥取中央育英高校

《備考》参加校数 119校

最優秀校 5校、優秀賞校 7校、優良賞校 31校、
奨励賞校 17校

【参考】過去3年間の受賞者

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
写真		奨励賞（鳥取聾）	全部門受賞者なし
弁論	優良賞（鳥取敬愛）		
新聞	奨励賞（鳥取城北、倉吉 総合産業）		
文芸	講師賞・短歌（鳥取東）		

平成25年8月9日に開催された鳥取県文化財保護審議会において、下記の文化財を鳥取県天然記念物の指定および鳥取県無形民俗文化財の指定について鳥取県教育委員会に答申することが決定されました。

記

【指定】鳥取県天然記念物

名称	所在地	指定基準
あがなみわけいこく けつぐん 赤波川溪谷のおう穴群	鳥取市	3地質鉱物 (9)風化及び浸食に関する現象

<指定理由>

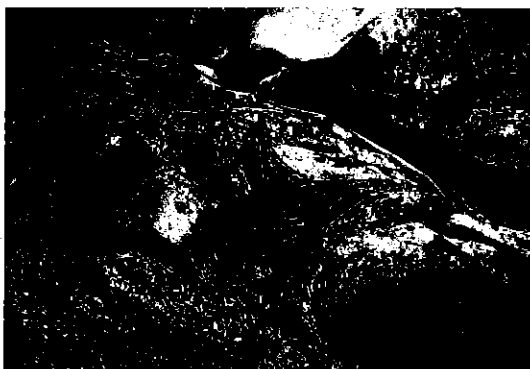
赤波川は用瀬町鷹狩で千代川に注ぐ流域15.3kmの小河川である。この中流部の河川勾配は変成岩分布域に比べて大きく、水流も急流となって花こう岩を強く浸食しており、この流域が赤波川溪谷と呼ばれている。

赤波川溪谷では、約1,200mの距離にわたって様々な花こう岩の浸食地形が見られる。節理に規制された屈曲流路や階段状河床、河床の花こう岩岩盤上に穿たれた浸食溝やおう穴などである。

おう穴でもっとも典型的な形態は「甌穴型」で、水流とともに流れる礫が、岩盤の窪みや亀裂に引っ掛かり、そこでの回転運動による集中的研磨で穴をあけたものである。一般的には岩盤上の丸い穴として見られるが、いったん形成されたおう穴の縦半分が浸食されてしまうと、穴の縦断形が残される。「釜孔型」とされたものはこうしたおう穴の縦断形を見ることができ、徳利のように口がせまく内部はより広いというおう穴特有の形態が直接観察でき、あまり例がなく貴重な浸食地形といえる。

また、おう穴群の中には、現河床面より明らかに高い位置を占めるものがある。これらは、過去における河床面の高さを示している可能性があり、溪谷の形成過程を知るための鍵となり得るものと考えられる。

以上のように、赤波川溪谷のおう穴群は比較的短い距離の間に集中して形成されており、その形態も様々で、花こう岩の浸食状況や浸食過程を知るうえで貴重な自然である。自然体験や自然観察の対象として、さらには地形・地質に関する学術的研究対象としても、県指定の文化財（天然記念物）に相応しいものである。



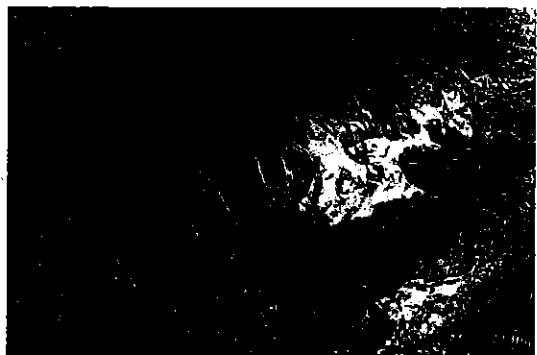
甌穴型おう穴



釜孔型おう穴



滝壺型おう穴



淵型おう穴

【指定】鳥取県無形民俗文化財

名称	所在地	指定基準
あかまつ こうじんさい 赤松の荒神祭	大山町	1 風俗慣習のうち次の各号の一に該当し、特に重要なもの (1)由来、内容等において我が県民の基盤的な生活文化の特色を示すもので典型的なもの

<指定理由>

赤松の荒神祭は、閏年の3月第1日曜（かつては閏年の2月2日）に、藁で作った大蛇を荒神に納する神事。起源は、承応3年（1654）、大干ばつに見舞われた赤松集落が氏神様のご神託を受けたところ、五穀豊穡と村の繁栄を祈って大蛇を奉納せよとのお告げがあったこととされる。

大蛇は全長約25メートルの巨大なもので、頭上には、集落内各戸の繁栄を祈願する御幣を戸数分立てる。当日は、大蛇を前に神事を執り行った後、住民総出で大蛇を担いで集落を練り歩き、氏神日吉神社境内の荒神の玉垣内に奉納する。また、大蛇の男根部分は閏年から閏年の間に入り婿した男性が、子孫繁栄と将来の幸福のために担ぐことになっている。

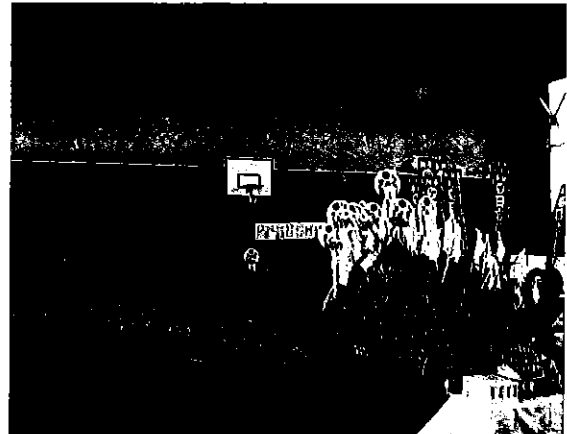
赤松の荒神祭は、県西部に広く分布する荒神祭の特徴をよく示すと共に、独自の重要な要素を備えていることから、貴重な無形民俗文化財であるといえる。

(赤松の荒神祭の特徴)

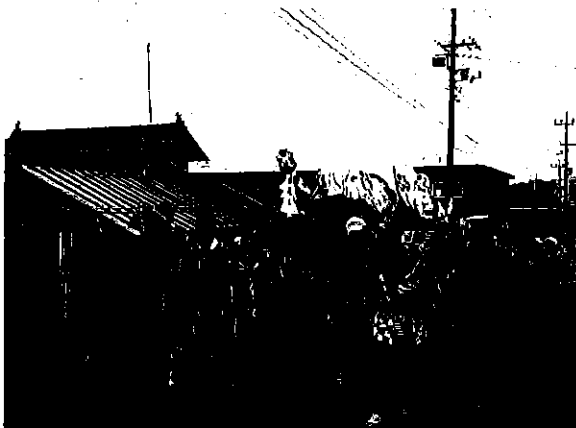
- ①行事を実施する時期が、県西部で一般的な毎年の秋ではなく、閏年の2月であること
- ②行事の由来が古文書に明確に記載され、大かんばつという水との関連を述べていること。県内の他地区において、このように行事の由来が明示されている例は管見の限りなく、荒神祭の始まった時期とその意味を考える上で興味深い点である
- ③大蛇の大きさが県内随一であり、また頭に御幣を立てること
- ④閏年と閏年の間に婿入りした男性が、羽織袴を着して祈願祭に参列し、大蛇巡行では重要なシンボルを担ぐこと、行事終了後は各家を挨拶してまわるなど、入り婿が重要な役目を果たしていること



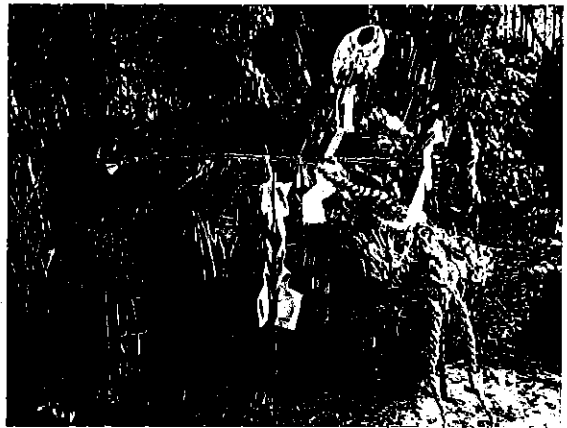
大蛇の作成



完成した大蛇



大蛇巡行



大蛇奉納

参考：鳥取県の国・県指定文化財の件数

() は今回の新規指定決定件数であり外数

県内	県指定文化財		国指定文化財		
		253	(2)	117	
	保護文化財	123	国宝・重要文化財	56	
	絵画	18	絵画	3	
	古文書	4	古文書	0	
	彫刻	41	彫刻	18	
	工芸品	14	工芸品	5	
	書跡	0	書跡	1	
	考古資料	19	考古資料	11	
	歴史資料	2	歴史資料	0	
	建造物	20	建造物	18	
	工芸・考古資料	4	工芸・考古資料	0	
	彫刻・建造物	1	彫刻・建造物	0	
	史跡	19	特別史跡・史跡	31	
	名勝	7	名勝	4	
	名勝・史跡	0	名勝・史跡	1	
	名勝・天然記念物	0	名勝・天然記念物	1	
	天然記念物	53	(1)	特別天然記念物・天然記念物	19
	有形民俗文化財	3	重要有形民俗文化財	1	
	無形民俗文化財	40	(1)	重要無形民俗文化財	3
	無形文化財保持者・団体	7	重要無形文化財保持者・団体	0	
	伝統的建造物群保存地区	1	重要伝統的建造物群保存地区	1	
	県選択	2	国選択	9	
	記録作成等の措置を講ずべき 無形の民俗文化財	2	記録作成等の措置を講ずべき 無形の民俗文化財	9	

平成25年度美術品の購入について

平成25年8月21日
博 物 館

鳥取県美術品取得基金を活用して以下の美術資料(5点)を購入する予定です。

購入予定作品

NO	分野	作家名	購入理由	作品名 制作年 (和暦)	材質技法 (員数) 寸法H×W×D (cm)	購入予定価格 (単位:千円)
1	西洋絵画	モーリス・ド・ヴラマンク Maurice DE Vlaminck (1876-1958)	本県出身作家(前田寛治)とつながりをもつ国内外の作家の優れた作品	あかいやね 赤い屋根 c1912-14	油彩・カンヴァス 59.5×71.5	20,000
2	日本画	すが たてひこ 菅 楯彦 (1878~1963)		ぶがくこちょう 舞楽胡蝶 1962年 (昭和37年)	紙本着色 (一幅) 104.5×150.8	2,998
3		すが たてひこ 菅 楯彦 (1878~1963)		びるしゃなのみて 毘盧遮那の御手 1934年 (昭和9年)	絹本着色 (一幅) 140.5×28.5	350
4		こばやかわ しゅうせい 小早川 秋聲 (1888~1974)		てんかわじゅん 天下和順 1956年 (昭和31年)	絹本金地着色金泥 (一幅) 129.0×56.4	1,500
5	近代彫刻	つじ しんどう 辻 晋堂 (1910~1981)		にんげん 人間 (椅子に座っている人物) 1957年 (昭和32年)	陶彫 82.0×35.5×28.5	4,410
計				5点		29,258

【参考：近年の購入状況】

年度	購入金額 (千円)	内 訳	
H24	33,890	53点	絵画19点、写真31点、彫刻3点
H23	36,855	13点	絵画8点、彫刻2点、工芸3点
H22	33,660	44点	絵画2点、写真40点、彫刻2点

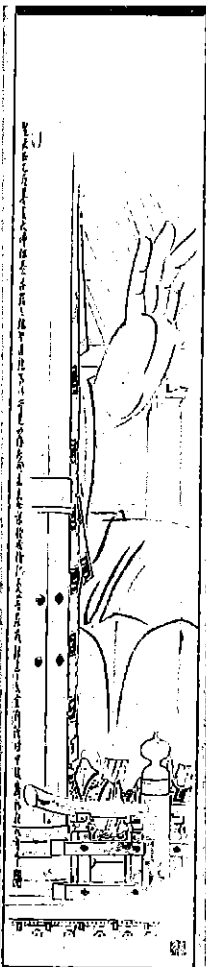
【購入作品画像一覧】



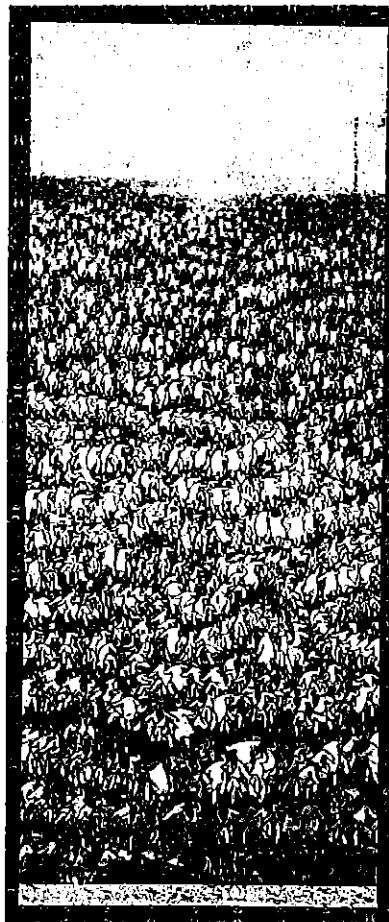
①モーリス・ド・ヴラマンク《赤い屋根》



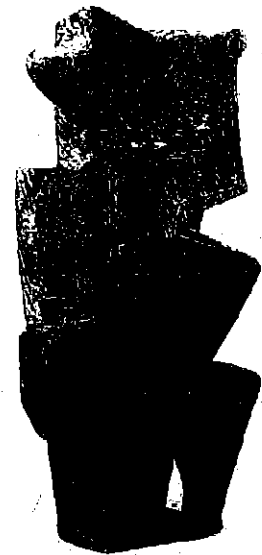
②菅楯彦《舞楽胡蝶》



③菅楯彦《毘盧遮那の御手》



④小早川秋聲《天下和順》



⑤辻晋堂《人間 (椅子に座っている人物)》

平成28年度全国高等学校総合体育大会の開催について

平成25年8月21日

スポーツ健康教育課

平成28年度に全国高等学校総合体育大会（インターハイ）が中国ブロックで開催されることとなり、本県では4競技（相撲、弓道、自転車（トラック）、ホッケー）を開催予定です。

1 全国高等学校総合体育大会の概要

(1) 大会目的

高等学校教育の一環として高校生に広くスポーツの実践機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な高校生を育成するとともに、高校生相互の親睦を図る。

(2) 実施主体

主催 (公財) 全国高等学校体育連盟、開催地都道府県、同教育委員会他

後援 文部科学省、(公財) 日本体育協会、日本放送協会、開催県体育協会他

主管 開催県高等学校体育連盟他 協賛 日本コカ・コーラ

(3) 大会期間 7月～8月

(4) 開催競技数 30競技(34種目)

2 平成28年度全国高等学校総合体育大会鳥取県開催競技について

競技名	会場地	競技会場
相撲	鳥取市	県民体育館（県立布勢総合運動公園）
弓道	米子市	県立武道館
自転車（トラック）	倉吉市	倉吉自転車競技場
ホッケー	八頭町・鳥取市	八頭高等学校・県立布勢総合運動公園

【参考：平成28年度開催中国地区他県の開催競技】

県名	競技数	競技（種目）名
岡山県	9	陸上競技、水泳（水球）、卓球、ソフトテニス、バドミントン、剣道、登山、ウエイトリフティング、少林寺拳法、〔総合開会式〕
広島県	8	水泳（競泳、飛込）、バスケットボール、サッカー、ボクシング、自転車競技（ロード）、ソフトボール、レスリング、アーチェリー
山口県	6	バレーボール、ハンドボール、フェンシング、空手道、なぎなた、カヌー
島根県	4	体操（体操、新体操）、柔道、ボート、テニス

※ヨット競技は平成27年度から和歌山県で固定開催

3 今後の主なスケジュール

平成25年度（3年前） 関係市町と調整・協議 会場地決定（全国高体連の決定を受けて）
 平成26年度（2年前） 県準備委員会設立
 平成27年度（1年前） 県実行委員会設立
 平成28年度（開催年） 全国高等学校総合体育大会中国ブロック開催（7～8月）

児童生徒のスポーツ活動ガイドライン検討委員会の設置及び開催等について

平成25年8月21日
スポーツ健康教育課

児童生徒のスポーツ活動の適正化やスポーツ活動における指導や運営のより一層の充実を図るため、スポーツ活動ガイドラインの策定に係る検討委員会を設置し、第1回検討委員会を開催するとともに、スポーツ指導者研修会を開催する。

1 児童生徒のスポーツ活動ガイドライン検討委員会の設置及び開催について

(1) 児童生徒のスポーツ活動ガイドライン検討委員会の設置

別添委員一覧参照。

(2) 第1回検討委員会の開催

①開催期日 平成25年7月26日(金) 午前10時から午後0時30分

②会場 鳥取県庁第2庁舎 第29会議室

③主な内容

○講義 「運動部活動のあり方に関する調査研究報告書」

国立教育政策研究所 教育課程調査官 石川 泰成 氏

○協議

- ・現状及び課題について
- ・ガイドライン骨子について
- ・運動部活動・スポーツ活動の意義について(第1章の内容検討)

(3) 主な意見

- 児童生徒に寄り添って熱心に指導している指導者に対して、活動の支援や指導のポイントを明記した指導者の助けとなるガイドラインとすべき。
- 小学生のスポーツ活動と中学校高等学校の運動部活動では課題が異なるため、それぞれの実態に沿った内容とすべき。
- 子どもたちを取り巻く環境や活動内容が大きく変化する小学生の地域スポーツから中学校の運動部活動への接続を、スムーズに行うために参考となるようなガイドラインが必要である。
- スポーツ少年団に加盟していない少年スポーツクラブや、学校の運動部活動以外のスポーツクラブ等にもガイドラインを周知徹底する必要がある。

(4) 今後のスケジュール

第2回検討委員会 8月下旬 ※内容検討

第3回検討委員会 11月 ※完成版の修正

→パブリックコメント

第4回検討委員会 1月 ※最終修正

→2月完成、3月各学校へ配布

2 平成25年度鳥取県スポーツ指導者研修会の開催について

(1) 研修会名 鳥取県スポーツ指導者研修会
～今求められるスポーツ指導の在り方について～

(2) 目的

スポーツの在り方やスポーツの指導者として求められる姿について考え、議論することを通して、本県のスポーツ界から反倫理的行為を根絶し、すべての人々がスポーツ文化を享受できる環境の構築に資することを目的とする。

(3) 日時 平成25年9月21日(土) 10時から16時まで

(4) 会場 米子コンベンションセンター 国際会議室

(5) 参加者

- ①小学生スポーツ指導者(スポーツ少年団含む)
- ②中学校、高等学校運動部活動顧問及び外部指導者
- ③各市町村教育委員会スポーツ所管課担当者
- ④スポーツ推進委員
- ⑤その他、関係者

(6) 日程

9:30 10:00 10:20 11:20 12:30 13:30 15:00 15:15 16:00

受付	開会	特別講演	講演	休憩	ワークショップ	休憩	まとめ	閉会
----	----	------	----	----	---------	----	-----	----

(7) 内容

- ①特別講演:「フェアプレイとオリンピックムーブメント(仮題)」
講師:萩原 智子 氏(シドニーオリンピック水泳日本代表)
- ②講演:「今求められるスポーツ指導の在り方と指導者の資質」
講師:田中 守 氏(清水隆一コーチングカレッジ)
- ③ワークショップ:
「スポーツ界における暴力行為をはじめとした不適切な指導根絶に向けて」
講師:田中 守 氏(清水隆一コーチングカレッジ)

児童生徒のスポーツ活動ガイドライン検討委員

区 分	氏 名	備 考
有識者	油野 利博	鳥取大学名誉教授 スポーツ審議会会長
有識者	大部 由美	スポーツ審議会委員
地域スポーツ	高田 貴志	一般財団法人鳥取県サッカー協会事務局長
中学校体育連盟	大東 治巧	鳥取県中学校体育連盟会長
高等学校体育連盟	小倉 健一	鳥取県高等学校体育連盟会長 スポーツ審議会委員
県 PTA 協議会	倉本 政寛	鳥取県 PTA 協議会ブロック理事
私立中学高等学校長会	門脇 由己	私立中学高等学校長会長
市町村教育委員会	浅井 俊彦	鳥取市教育委員会体育課長
鳥取県教育委員会	生田 文子	鳥取県教育委員会教育次長

ワールドマスターズゲームズ トリノ大会視察結果について

平成25年8月21日
スポーツ健康教育課
企画課

関西広域連合は、4年ごとに開催されるワールドマスターズゲームズ（以下、WMG）の2021年大会の招致を検討しているところであり、この度、2013年トリノ大会視察のため、下記のとおり関西広域連合から平井鳥取県知事及び門川京都市長を団長とする視察団が派遣されました。

現地では、大会現地説明会への参加、競技視察、国際マスターズゲームズ協会（以下、IMGA）やトリノ市長との面談を実施すると共に、大会の開会式にも出席しました。

8月29日に開催予定の関西広域連合委員会において、WMGの2021年大会の招致について検討予定です。

記

1 関西広域連合トリノ視察団（合計20名）

団長 平井 伸治 関西広域連合委員（鳥取県知事）、門川 大作 関西広域連合委員（京都市長）

団員 中塚 則男 関西広域連合本部事務局長

（鳥取県）岩崎 林太郎 観光政策課長、教育委員会 吹野 英明 スポーツ健康教育課長
他 関係府県市担当等10名

高橋 一夫 近畿大学経営学部教授、長ヶ原 誠 神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授
（いずれもスポーツコミッション関西） 他3名

2 派遣先 トリノ市（イタリア）

3 訪問日程（知事日程）

平成25年8月1日（木）～8月5日（月） 5日間

月 日	日 程
8月 1日（木）	移動（羽田空港発→フランクフルト→トリノ着） トリノ大会組織委員会主催の大会現地説明会 トリノ市主催歓迎レセプション
8月 2日（金）	カイ・ホルムIMGA会長、ジェンス・ホルムIMGA CEOとの面談 ピエーロ・ファッシーノ トリノ市長との面談
8月 3日（土）	競技視察、開会式出席
8月 4日（日）	移動（トリノ発→ミュンヘン→成田空港（8/5着））
8月 5日（月）	成田空港着

4 結果概要

8月1日（木） トリノ大会組織委員会主催の大会現地説明会（トリノ市及び近郊）

参加者 関西広域連合トリノ視察団：平井伸治鳥取県知事（午後から合流）、門川大作京都市長、中塚則男関西広域連合本部事務局長、高橋一夫近畿大学経営学部教授、長ヶ原誠神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授 他
その他、大会開催に関心を持つ各国視察団など

説明概要 トリノ市の大会組織、予算、参加者数、選手受け入れ体制等について説明
競技会場（ウエイトリフティング、ソフトボール、競泳、陸上、射撃、ボート、カヌー）を視察し、大会運営方法などについて説明を受けた。

トリノ市主催歓迎レセプション（トリノ市役所）

8月2日(金) カイ・ホルムIMGA会長、ジェンス・ホルムIMGA CEOとの面談

- ・関西広域連合における現在のWMG開催についての検討状況を説明した上で、今後の進め方等について話し合った。
- ・先方からは、当方の説明について一定の評価を述べるとともに、他地域からの開催要請もある旨の指摘があった。

ピエーロ・ファッシーノ トリノ市長との面談(トリノ市役所)

- ・WMGトリノ大会の成功を祈念している旨伝えた上で、WMG開催に際しての留意点を聞いた。
- ・また、鳥取県や京都市とトリノの共通点について話しつつ、関西全域も含め相互のより良好な関係を築いていくことを確認した。

8月3日(土) 競技視察(トリノ市及び近郊)

- ・自転車、陸上、バレーボール、及びバスケットボール会場を視察し、各競技の実施状況について確認した。

開会式出席(トリノ市 カステッロ広場) 20:30~

- ・WMGトリノ大会の開会式に出席した。
- ・大会関係者と共に大会の開催を祝福し、関西での開催検討についてアピールした。また、日本選手団をはじめ参加者達を激励した。
- ・式では、オープニングセレモニーの後、ベニンテンディ委員長からの開会挨拶、ファッシーノ市長他の挨拶、聖火点灯と続いた。



[写真]

日本からの参加者を激励する平井知事。
後列右から門川大作京都市長、ドン・ポーター世界野球・ソフトボール連合共同代表、平井鳥取県知事。

ワールドマスターズゲームズ(WMG)について

WMGとは、国際マスターズゲームズ協会(IMGA)が4年ごとに主催する、成人・中高年の一般アスリートを対象とした生涯スポーツの国際総合競技大会である。1985年(昭和60年)に第1回大会がカナダ・トロントで開催され、今年のトリノ大会が第8回の開催となる。

- ・オリンピックとは異なり、参加資格は年齢の下限が定められているのみで、登録料を払えば誰もが参加することができる。
- ・男女・年代別(通常5歳ごと)に種目が行われ、年代別にメダルが授与される。
- ・参加者数は、2009年WMGシドニー大会28,676人(トリノ 約17,000人)
- ・平均9日間の大会期間と前後の観光滞在のため、ツーリズム、イベントとして認知されている
- ・競技は、毎回実施する16種の主要競技と開催地ごとのオプションナル競技に分けられ、オプションナル競技は主催都市(組織委員会)が提案し、IMGAの承認により決定される。